

# 北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

## 北山湿地を守る活動

【6月の作業内容(18日(土)9時~正午) 参加18人】①A湿地南奥の整備(使用していない柵・杭の撤去、除伐)②G湿地のナンカイワカガミ周囲の手入れ③種子落としマット付近の木道修繕④ヒメカンアオイ移植場所付近の除伐ほか整備



A湿地南奥の整備



ヒメカンアオイ移植場所での除伐

節電が叫ばれる今日この頃。しかし連日の真夏日ではなかなか厳しい♣そこで隠れた避暑地?が北山湿地。炎天下から木陰に入ったときの涼しさはちょっと感動(日なたは暑いよ…)♣7月上旬の北山湿地。散策道沿いには目を楽しませてくれる花などはあまり見られず、駐車場からA湿地まで意外と遠いし、暑さもあって途中で引き返した老夫婦も♣北山湿地は自然の宝庫



エゴノキの葉でゆりかごを作るエゴツルクビオトシブミ。体長はわずか5~8mm(北山 名倉正志さん撮影)。

ですが、過剰な期待は禁物。長年、北山に係わっている湿地保護の会会員でさえ知らないこともまだまだ多い。自然観察はあくまでも“自然体”で♣散策道や木道からは観察しづらい小さな生きものや植物が多いので、双眼鏡や単眼鏡などがあると便利。思わぬ発見があるかも。

## 北山湿地へのご意見感想

以下は、前号でもレポートしました6月12日開催の北山湿地観察会において、参加された方々にご協力をお願いしたアンケート結果です。

◆先生の説明が分かりやすくて良かった◆自然の中は良いですね◆池のトンボのヤゴを見れたことが良かった◆いろいろな植物や生きものを見て知ることができてとても良かった。また来たい◆解説の知識の深さに感銘を受けました。先生方がたくさんいらしたので、わからないことをすぐに聞くことができて良かった。岡崎の自然を後世まで残せるよう、湿地の広報、保護に力を入れていただいている様



やなが沢池の底をソソソ動き回る奇怪な枯葉……。正体はトビケラの幼虫の糞。落葉を小判形に切り抜き筒状に貼り合わせます。中央に幼虫が隠れています。

子がよくわかりました◆初めて参加させていただきましたが、市内でこのような湿地があることは知りませんでした。講師の先生、保護の会の皆さんの解説により大変有意義な時間になりました。今後もぜひ参加したいです◆昔、愛教大の学生が毎年夏休みになると作手村の湿地帯に植物授業に来ていたのを思い出し、楽しかった。

《アンケート結果(回答者11人)》【性別】男性5人 女性6人【年齢】30代1人 50代2人 60代5人 70歳以上3人【北山湿地訪問回数】初めて5人 2回目4人

3回以上2人【北山湿地を何で知ったか】観察会3人 ホームページ1人 知人から4人 その他3人(市政だより)【観察会の内容】満足11人【観察会の時間(3時間)】ちょうど良い11人【北山湿地の良いところ、観察会で良かったこと(複数回答)】ミズゴケ5人 花11人(トキソウ、ササユリ、コモウセンゴケ) 樹木10人(バイカツツジ、ネムノキ、ハンノキ、ウメモドキ) 生き物11人(ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチ、モノサシトンボ、ムカシヤンマ、シマアメンボ、カワムツ)【北山湿地の悪いところ、改善すべきところ(複数回答)】駐車場1人 トイレ2人 看板1人 木道1人

《生物多様性重要地域》国際環境保護団体研究チームが日本の生物多様性保全にとって特に重要な場所232カ所を選定。その総面積は国土の18%。【愛知県内】飛騨木曾川、天竜奥三河、愛知高原、濃尾平野外縁部、藤前干潟、鶯の山、矢作川河口、汐川干潟、伊川津 ※森の駅8月のプログラムは同ホームページまたは市政だより7月15日号をチェック。

## 夏休みは昆虫の世界へ

岡崎市は7月30日(土)より、森の総合駅(榎山町)において「おかざき大昆虫展～生物多様性の不思議～」を開催します。毎年多数の家族連れが訪れ、子どもはもちろん大人にも大人気です。展示内容も年々工夫が凝らされ、楽しみながら昆虫の世界を学ぶことができます。【日時】～8月21日(日) 8時30分～17時15分【内容】地元岡崎産から世界の巨大で美しい昆虫まで、多種多様な標本を展

示。昆虫に関するクイズや、生きた昆虫に触れる体験コーナーも設置予定。入場無料【森の総合駅】月曜定休。☎82-2511。

## 「森の昆虫教室」も開催

こちらも毎年、多くの親子が参加している講座です。会場の雨山ダムは、周辺の草地に専門家も驚くほどバッタがたくさん。ムシ好きだけでなく苦手な子どもでも、教室が終わる頃には興味を持つようになるかも。生物多様性の未来を担うのは、昆虫をいじくり回せる子どもたちだ!?【日時】8月7日(日)9時～



暗がりでは黄色が目立つキイトトンボ。北山湿地で時々見かけます。

15時(雨天は内容を変更して実施)【会場】森の総合駅、雨山ダム(雨山町)【内容】(午前)総合駅集合後、雨山ダムへ。先生方と昆虫採集・観察。(午後)総合駅で講義、顕微鏡による観察【講師】大平仁夫先生(農学博士)【対象】小学生以上の親子【定員】35人(多数の場合抽選)【持ち物】弁当・飲み物・アミ・虫かご・筆記用具【申し込み】はがき・Fax・Eメールに「昆虫教室申し込み」・郵便番号・住所・参加者全員の氏名・電話番号を記入。岡崎市自然共生課自然保護班まで(連絡先は本紙表面欄外に記載)。

## きたやま歳時記⑫

### 不思議な植物の名前①

誰がつけた、何でこんな名前??カワイソー…。植物図鑑を開いてゆくと気がつくことはたくさんありますが、私が気になったのは植物につけられた「名前」です。いろんなつけ方があります。全体の姿かたちから、花・葉の特徴から、育つ季節から、昔の伝説から等さまざまで。そんな中から気になったものを紹介してみます。

写真は皆さんよく御存知の「オオイヌノフグリ(大犬の陰囊)」。春先にどこにでも見られる小さなかわいい花です。誰がつけたの、何でこんな名前?カワイソーの部類です(私の中では)。別名「星の瞳」という素敵な名前も付けられています。こちらのほうが似合っています。

さて何でこんな醜い名前がつけられた?フグリとは陰囊のこと(フグリなどという言葉を知っている人は珍しい)。実の形がオス犬のそれに似ていることからつけられた名前。ただしこれは近縁種であるイヌノフグリに対してつけられたもので、この種の果実はそれほど似ていないらしい。正しくはイヌノフグリよりも大きな花の植物の意です。



一方、イヌノフグリとは牧野富太郎博士がつけた名前。3～5月に淡いピンク色をした3～5mmほどの花をつけ、花卉には紅紫色のすじが入ります。かつては普通に見られた雑草ですが、近年はオオイヌノフグリにその生育地を奪われたほか、開発などにより大幅に数を減らしています。環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。(文と写真/おかざき湿地保護の会 古本峯夫)

《自然保護活動者養成講座～守ろう!生物多様性～》岡崎市は、自然保護および保全に必要な基礎知識の習得と、保護保全における中心的活動者の育成を目的とした講座を開講します。【内容】①④⑥は福祉会館での講義、②③⑤は野外①9月1日(木)昆虫の現状と自然保護②9月3日(土)野鳥から見た自然保護(おかざき自然体験の森)③9月10日(土)植物観察から考える自然保護(北山湿地)④9月15日(木)外来生物と自然保護⑤9月24日(土)水辺の生きものから見た自然保護(男川)⑥10月13日(木)生物多様性の保全に向けた市民活動【時間】講義19時～20時30分、野外9時～12時【定員】30人(多数の場合抽選)【申し込み】8月18日必着。方法は「森の昆虫教室」と同様。受講者へは詳細を別途連絡。